

「AED 講習会」はどうでしたか？参加された方には復習の為、これから参加予定の方やなんとなく興味がある方には AED や救急蘇生の予習をかねて、目を通していただければ幸いです。

心肺蘇生法の手順

1. 意識の確認

『大丈夫ですか』など、3回くらい呼びかける

肩（鎖骨のあたり）を叩き、痛み刺激を行う

2. 救急車、AEDの依頼

大きな声で応援を呼び、周りの人に『119番をお願いします』

『AEDを持ってきて下さい』と依頼する

3. 気道確保、呼吸の確認

頭部後屈一顎先挙上を行い気道確保

傷病者の口と鼻に耳を近づけ、呼吸の確認を行う

<呼吸の確認>

- ①胸部の上下運動を『見る』
- ②呼吸があるのか音で『聞く』
- ③頬で息を『感じる』



4. 2回の人工呼吸、循環のサインの確認

気道確保を行い、鼻をつまみ息を吹き込む(1回につき1秒かけて)

<循環のサインの確認>

- ①傷病者の口と鼻に耳を近づけ、『呼吸』と『咳』の確認
- ②からだを見て、『体動があるか』を確認

5. 心肺蘇生

- ①服を脱がせ、乳頭と乳頭の間に手を置く
- ②1分間に100回のリズムで30回心臓マッサージを行う
(3.5~5cmの深さで圧迫)
- ③気道を確保し、2回人工呼吸を行う(1回に1秒)
- ④30回の心臓マッサージと2回の人工呼吸を5セット(2分間)施行
- ⑤AEDが到着するまで施行する



6. AEDが到着しだい、AEDを使用

- ①フタを開ける(自動で電源が入る)
- ②電極を貼る(右の鎖骨の下と左の脇腹)
- ③電気ショックが必要な場合は、放電ボタンを押す
AED本体が心電図を自動解析し、除細動が
必要な場合のみ音声で指示があります



① **フタを開ける**(自動的に電源ON)
フタを開けた後は音声案内に従うだけです。

② **電極を貼る**(左右どちらでもOK)
(心電図の解析を始め、除細動が必要な場合は充電が自動で行われます)

③ **放電ボタンを押す**



7. 心肺蘇生を5セット(2分間)施行し、AEDにて再度解析